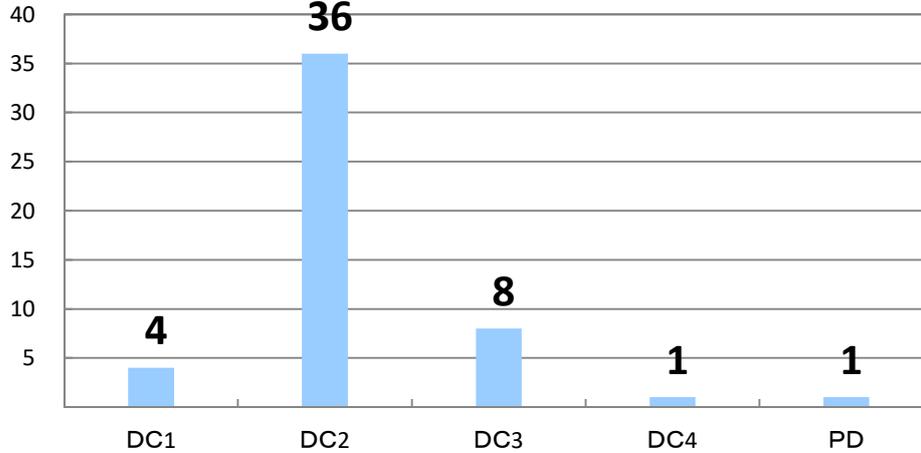


第33回(H29第2回)赤い糸会&緑の会 アンケート(研究者・企業)

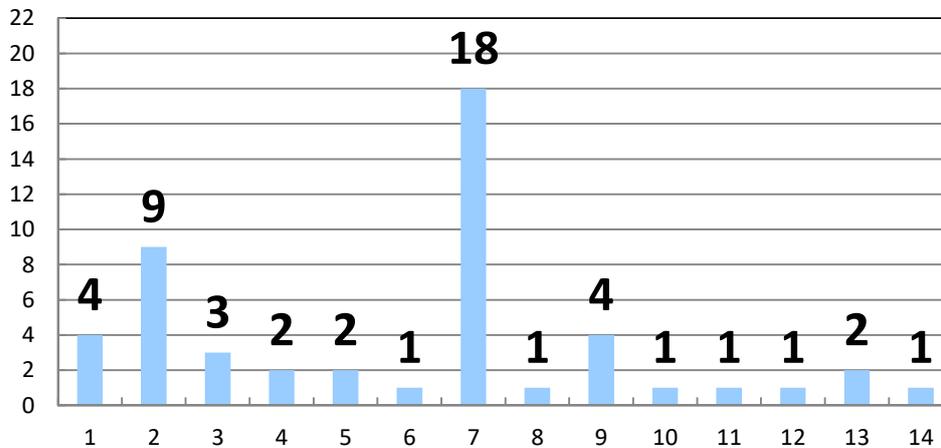
[1] 回答者数:研究者50名・企業36名

学年(研究者)

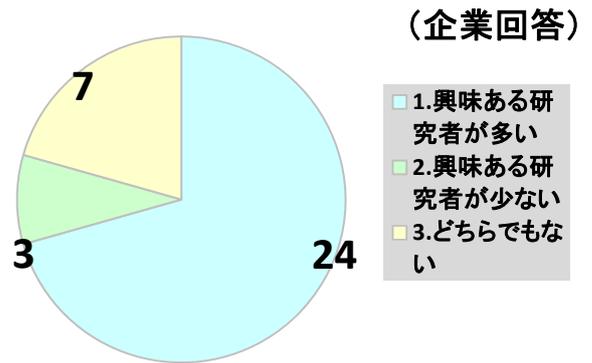
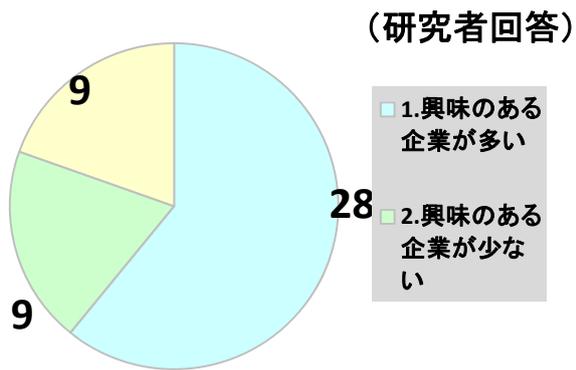


所属(研究者)

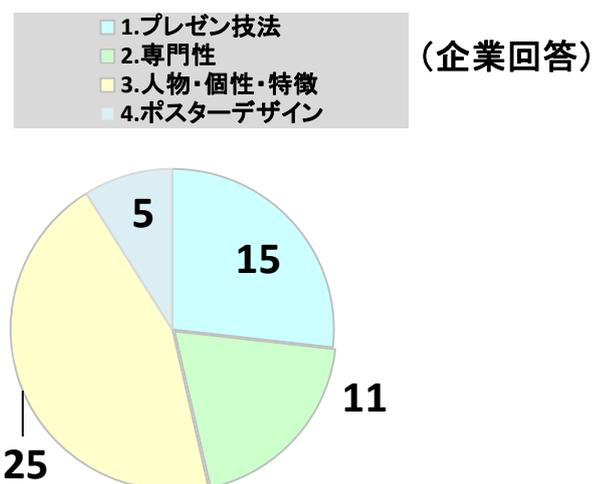
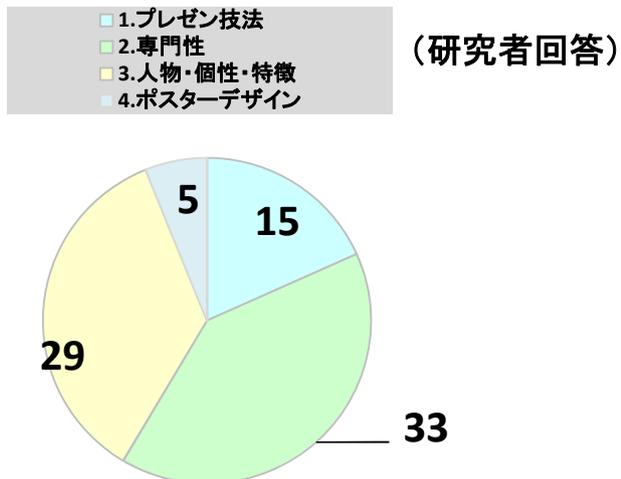
1. 理学院/理学研究院
2. 生命科学院/先端生命科学研究院
3. 農学院/農学研究院
4. 工学院/工学研究院
5. 環境科学院/地球環境科学研究院
6. 情報科学研究科
7. 総合化学院
8. 水産科学院/水産科学研究院
9. 医学/歯学/薬学/保健科学
10. 獣医学研究科
11. 東北大
12. 名大
13. お茶
14. 兵庫県立



[2] 興味のある企業/研究者はいましたか



[3] ポスターセッションでアピールできた点(研究者)/注目する点(企業)はどこですか



欄外コメント

- ・ 明るいかどうか
- ・ 何にモチベーションをもっているか
- ・ 自分なりの価値観を研究に加えているか。
- ・ 全体像、自分の貢献、わかりやすさ質問への適切な返答。

[3-1] ポスターセッションについて今後へ向けて一言
(良かった点、改善したい点、期待することなど)

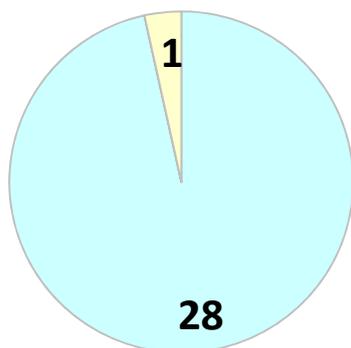
(研究者)

1	時間がない時にどう効率よく説明するかが改善の余地ありと感じました。
2	もうすこし練習すればよかった。
3	アピール内容の改善。
4	ポスターの前を通りかかる人を呼び留めるのが難しかった。積極的に動く必要があった。
5	文系の人への説明をもっとわかり易くしたい。
6	もう少しスペースにゆとりがあったら良かった(ポスターデザイン)。
7	もう少し積極的に。
8	もう少し志望動機について具体的にアピールできればよかった。
9	自分の出来ることをいかに広げることが出来るか、もう少し考えてきます(専門バカになりすぎない)
10	異なる専門性の企業と話が出来た。
11	接点の薄い企業さんへのアプローチの改善。
12	選考が始まるので今回の経験を活かしていきたいです。
13	事業内容等の予習が不足していた。改善したい。
14	参加企業の人数を増やしてほしい。
15	ポスターを縦長に作りすぎた。
16	もう少し専門の研究内容を入れたかったと思った。
17	ポスターデザインとプレゼンに改良の余地があった。
18	企業の方と話すきっかけづくり。
19	よりわかり易いプレゼンを目指したい。
20	話し方等多少修正したい。
21	もっと積極的に行っても良かった。
22	応用できることについてアピールできるように改善していきたい。
23	「グラフをもっと載せてよい」とご指摘いただいた。
24	研究テーマと現実問題とに隔たりを感じざるを得なかった。
25	もう少し研究結果を増やしても良いかもしれない。
26	専門性をアピールするための印刷物を用意したり、説明しやすいように工夫すべきだった。
27	研究における努力した部分をアピールすべきだった。

[4]ポスターセッションを通して、研究者を理解できましたか(企業のみ)

- 1.研究者のことがよく理解できた
- 2.研究者のことがあまり把握できなかった
- 3.どちらでもない

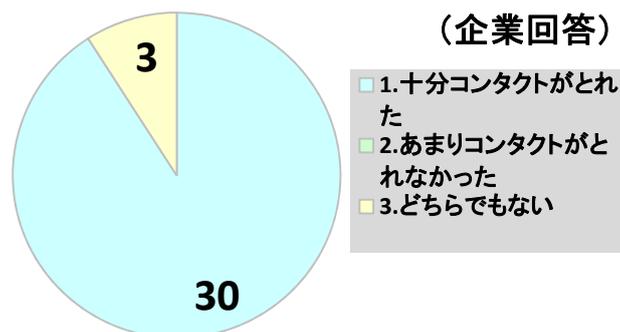
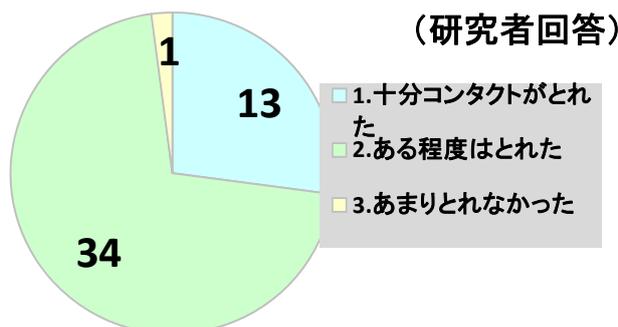
(企業回答)



欄外コメント

- ・どの研究者も明瞭で企業向きの印象を受けた。
- ・研究者によっていろいろ。
- ・プレゼンが上手な方がいる一方で研究者としてのまたは個人としてのキャラを表面に出してもよかったと思う。
- ・わかり易い説明をしてくれる方が多く、また質問に対する回答も明確でよくわかりました。
- ・日ごろの生活のことが聞けた。
- ・個性が良くわかります。
- ・ネクタイは外すなら外す、着用するなら着用した方が良いと思う。

[5] 全体を通して、企業/研究者とコンタクトがとれましたか



欄外コメント

・時間が足りない

[5-1] 企業とのコンタクトについて、今後へ向けて一言

(良かった点、改善したい点、期待することなど) (研究者のみ)

(研究者)

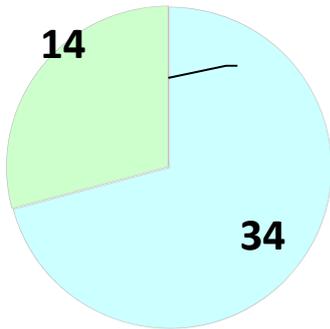
1	専門外へもアピールできた。
2	様々な事に興味関心を抱く性格が伝わったようなので、今後もアピールしていきたいです。
3	あらかじめ訪問するブースを決めておいたので回りたい6か所を回ることが出来た。
4	意外と数学を希望されている企業が多くて驚いた。
5	場所によって企業の通り方にちょっと差がある気がしました。
6	ポスターの集客を改善したい。
7	1人の学生が話す時間が長い。学生の説明は簡便の方が良いと思う。
8	希望したのに来てくれなかったところは自分も反省したい。
9	逆質問をもっと練っておけばよかった。
10	生命科学と遠いと感じる企業とのコンタクトが薄かったのもっと声かけすべきだった。
11	自分が考える出口感の提示。
12	志望企業へ行けるように尽力する。
13	希望している企業に来てもらえなかった。
14	企業紹介の順番が良い。
15	相手の質問にうまく対応できるように努めたい。
16	やはり本番で興味を引く企業さんがあり、個別交流の回り方は再考したい。
17	話を聞いてもらいたい企業に話を聞いてもらえてよかったです。
18	やはり研究テーマから遠いところは話についていけなかった。
19	ある程度分野を絞ってほしい。

20	つながりのとれた企業とコンタクトを取りたい。
21	もっと積極的に。
22	企業で行いたいことをイメージして取り組むべきだった。

[6]参加企業/研究者に対する今後の対応をお聞かせください

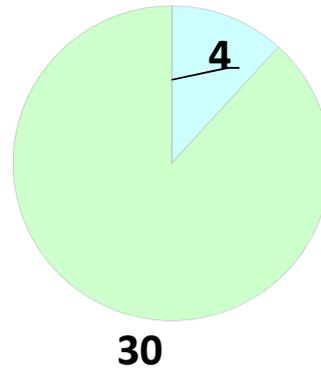
- 1. 今後交渉を進めたい
- 2. 興味のある企業があった
- 3. コンタクトを取りたい企業はない

(研究者回答)

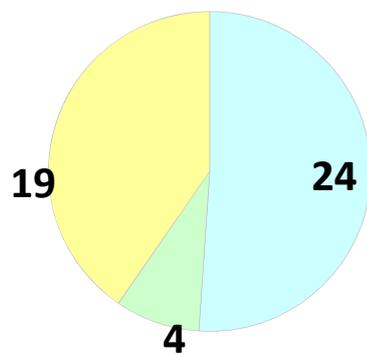


- 1. 採用したい研究者がいたので、今後も交渉を進めたい
- 2. 採用については未定だが、今後もコンタクトを取りたい研究者がいた
- 3. コンタクトを取りたい研究者はいない

(企業回答)



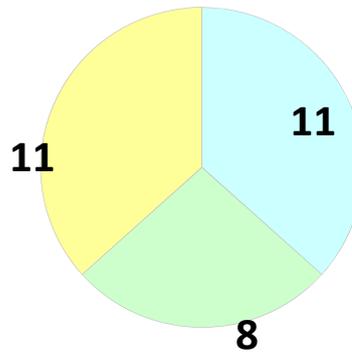
[7]インターンシップについて



(研究者回答)

- 1. 行きたい企業がある
- 2. 希望する企業はなかった
- 3. 行くつもりはない

(企業回答)



- 1. 受け入れを表明している
- 2. 受け入れてもよい
- 3. 受け入れは難しい

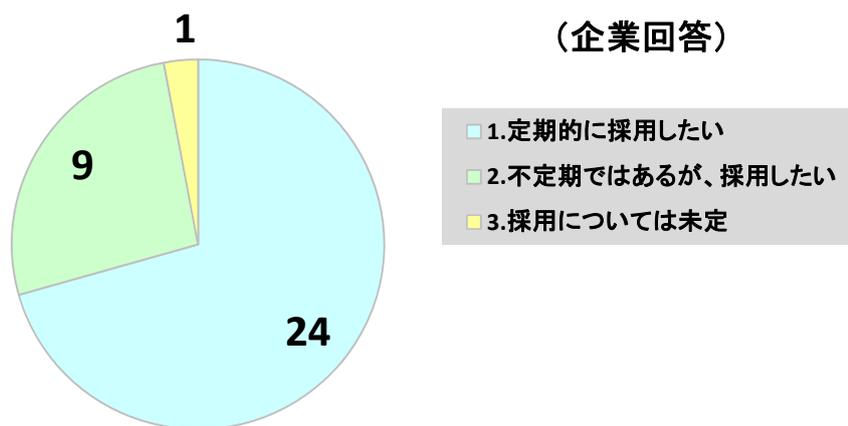
欄外コメント

- ・知財面が問題。
- ・来年度は未定。
- ・社内システムが整っていない。
- ・長期インターンシップの予定がない
- ・修士と枠が同じ(3週間)

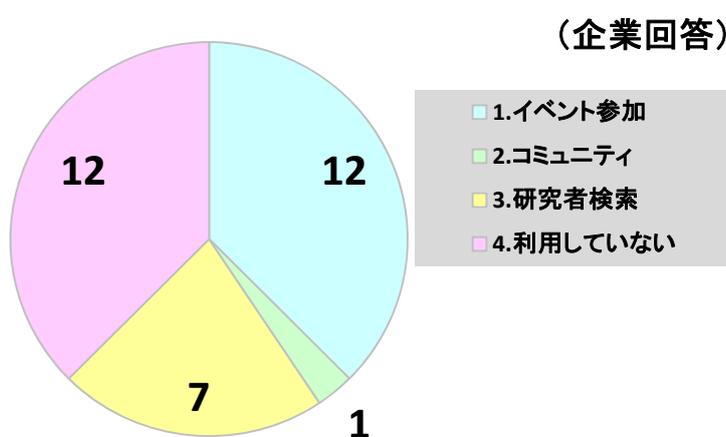
受入を表明している企業

- ・ダイセル
- ・東急建設
- ・ポツシュ

[8]PD・DC採用について(企業のみ)



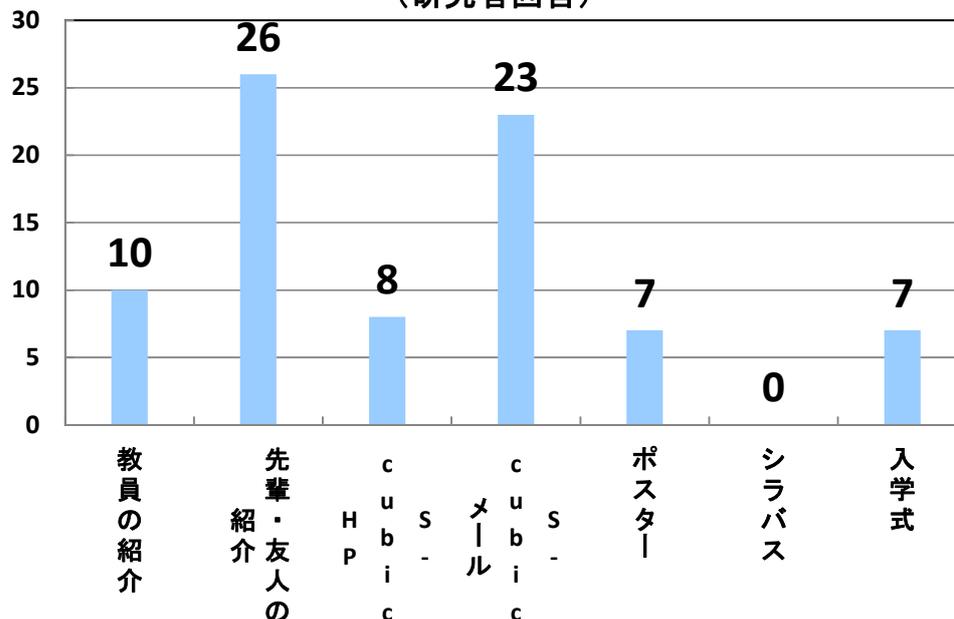
[9]Hi-System(研究者と企業の双方向ネットワーク)はどのように利用していますか?(企業のみ)



[10]「赤い系会 & 緑の会」の開催について、どのように知りましたか？(複数回答可)(研究者のみ)

1. 教員の紹介
2. 先輩・友人の紹介
3. S-cubic HP
4. S-cubicの案内メール
5. 研究所・学内の展示ポスター
6. 学内便による案内
7. 今年度のシラバスを見て
8. 大学院入学の際のオリエンテーションでの案内

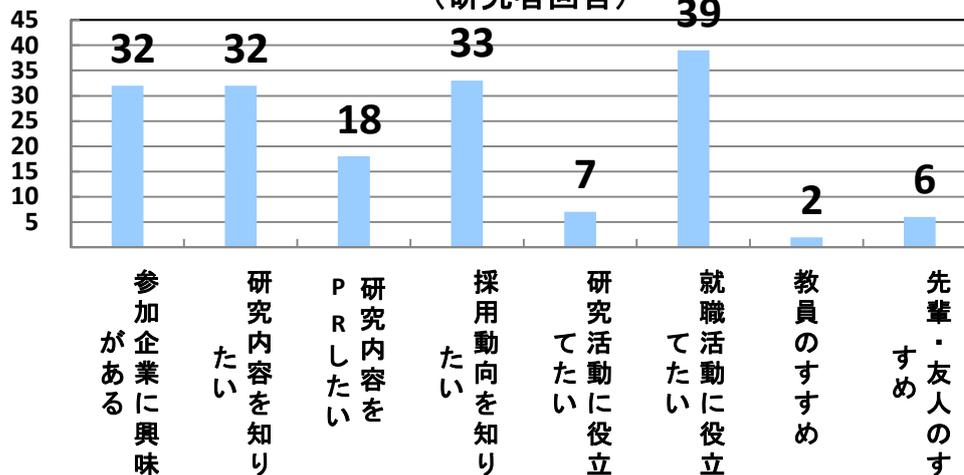
(研究者回答)



[11]「赤い系会 & 緑の会」への参加理由(複数回答可)(研究者のみ)

1. 興味のある会社があるから
2. 企業の研究内容を知りたいから
3. 自分の研究内容を企業にPRしたいから
4. 企業の採用動向を知りたいから
5. 自分の研究活動に役立てたいから
6. 就職活動に役立てたいから
7. 教員にすすめられたから
8. 先輩・友人にすすめられたから

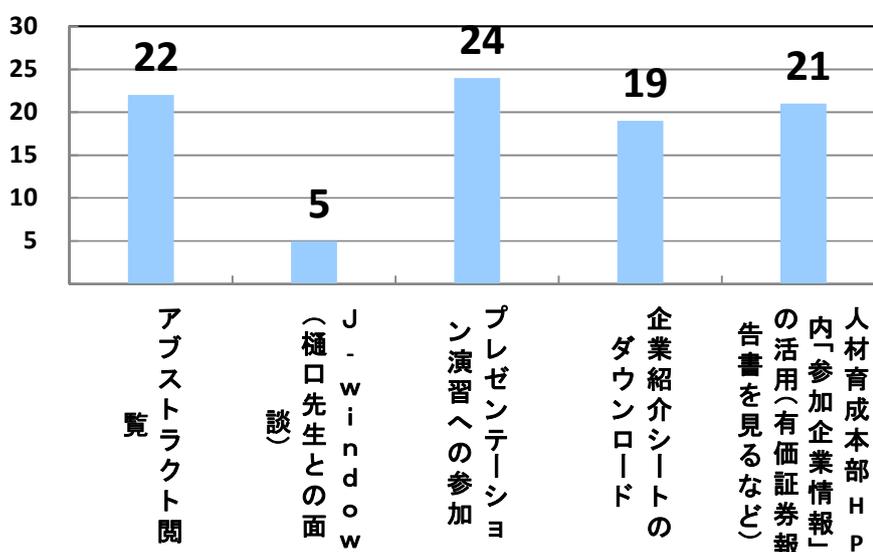
(研究者回答)



[12]参加前に準備として取り組んだことについて(複数回答可)(研究者のみ)

1. アブストラクト閲覧
2. J-window(樋口先生との面談)
3. プレゼンテーション演習への参加
4. 企業紹介シートのダウンロード
5. 人材育成本部HP内「参加企業情報」の活用(有価証券報告書を見るなど)

(研究者回答)



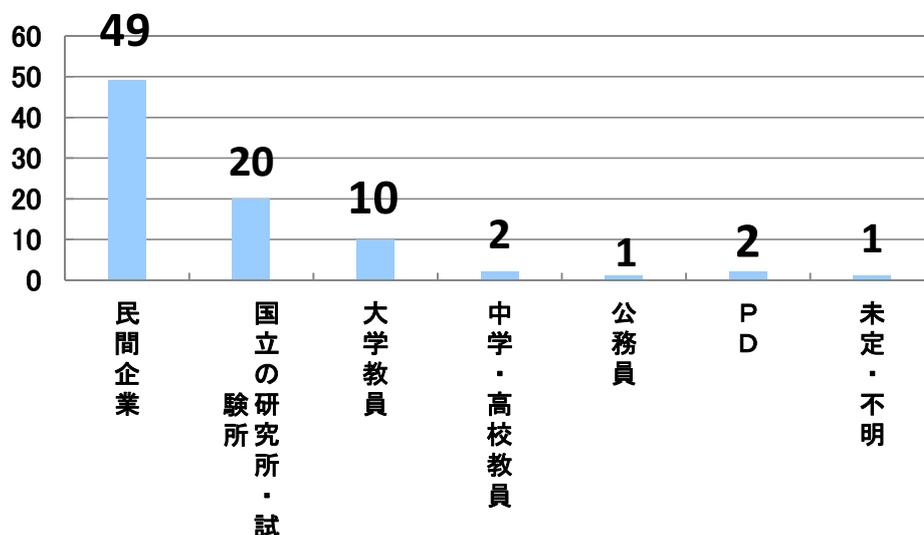
[12-1]事前に取り組んだことで特に効果のあったもの(研究者のみ)

1	プレゼンテーション演習
2	アブストラクト閲覧
3	プレゼンテーション演習
4	企業紹介シート
5	自主的な企業研究
6	先生方との面談
7	アブストラクト閲覧
8	プレゼンテーション演習
9	有価証券報告書を読むこと
10	企業理念などを先に知っておくこと。
11	先生方からのアドバイス
12	アブストラクト閲覧
13	ポスターの個別添削。
14	人材育成本部HP「参加企業情報」
15	有価証券報告書を読むこと
16	人材育成本部HP「参加企業情報」

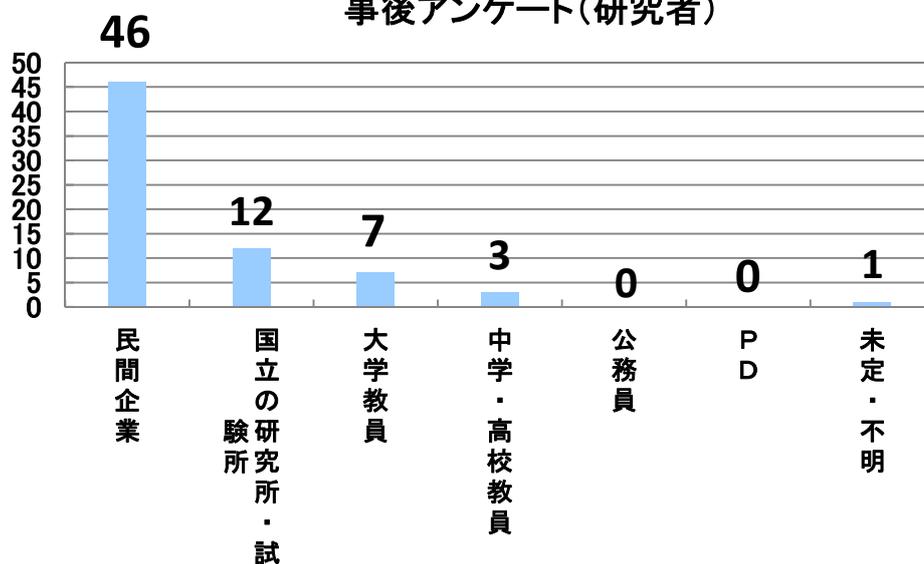
[13]あなたは、今後の自分のキャリアパスをどのように考えていますか？(複数回答可)(研究者のみ)

4. 中学校・高校教員になりたい 5. 公務員になりたい 6. DC・PDに進学したい
7. 決まっていない・分からない

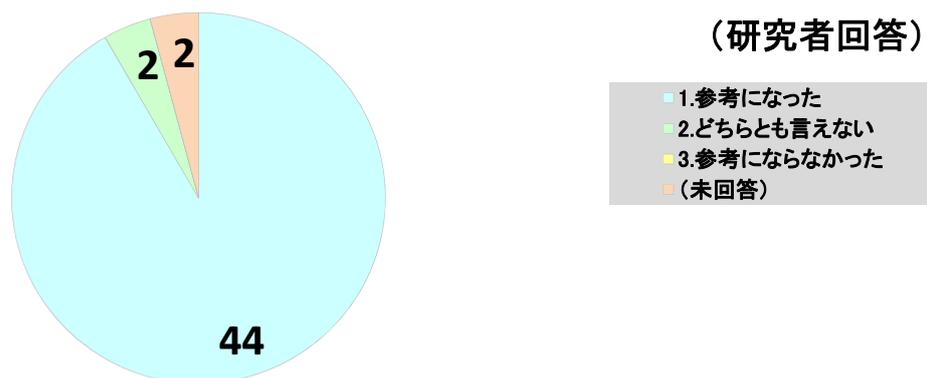
事前アンケート(研究者)



事後アンケート(研究者)

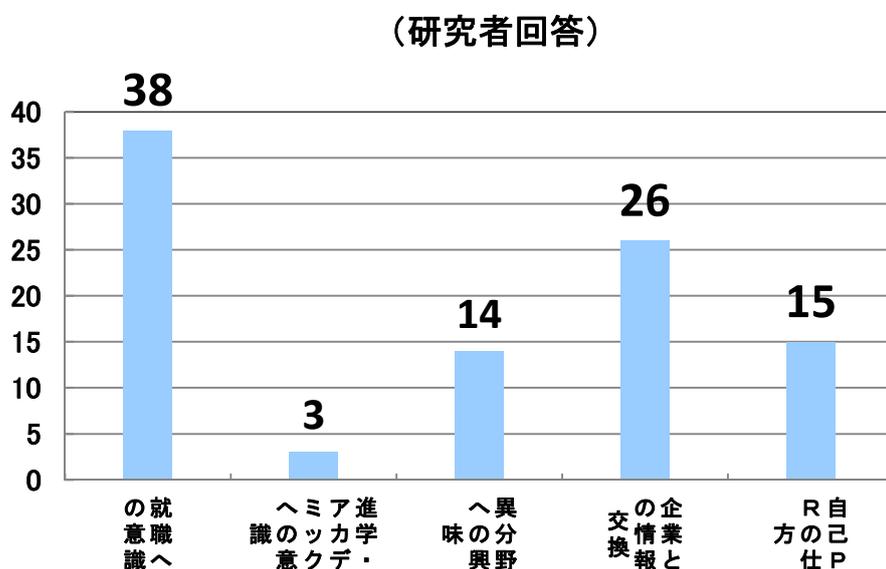


[14]「赤い系会 & 緑の会」は、進路決定の参考になりましたか？（研究者のみ）

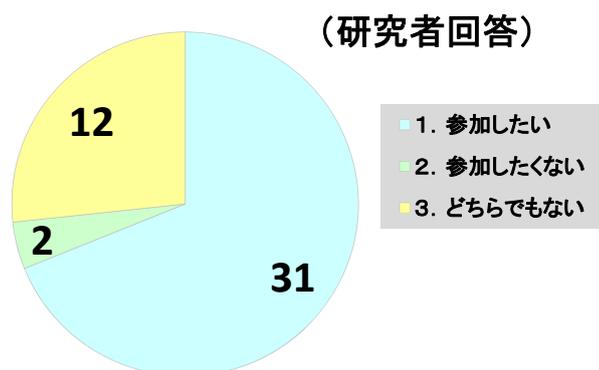


[14-1]参考になった方:どの点が参考になりましたか？（複数回答可）（研究者のみ）

1. 就職への意識が高まった
2. 進学・アカデミックへの意識が高まった
3. 異分野への興味が湧いた
4. 企業と情報交換できた
5. 自己PRの仕方を考えるきっかけとなった



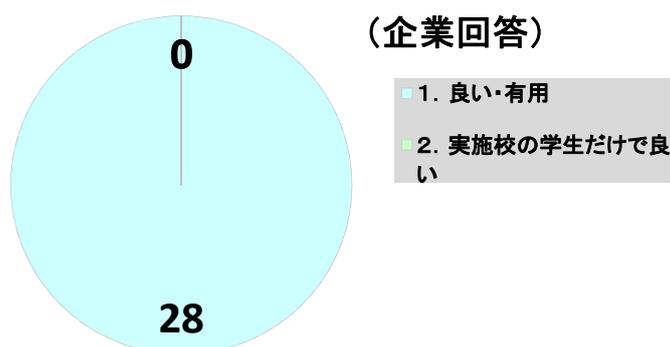
[15]コンソーシアム(全7大学)の取り組みについて
連携校マッチングイベントに参加可能なことについて(研究者)



欄外コメント

- ・自大学のもので十分
- ・チャンスが増えて良い

連携大学の学生が参加していることについて(企業)



欄外コメント

- ・非常に積極性のある方が参加しており、今後も進めていただきたい。
- ・多くの大学の学生と出会えるのはありがたいです。
- ・活性化に寄与していると思います。
- ・各大学バラバラでイベントがあり、このようにまとまる方向に推進していただきたい。

[16]全体を通して、「赤い系会&緑の会」についての感想など

(研究者)

1	直接会えるので私にとっては個人を見てもらえてさらに企業のことも肌で知れて良い。
2	今日は入口側にポスターを貼らせてもらいましたが、前回より来てくださる方が多かった気がします。→企業側が来るポスターに関しては場所には依存しないことは過去の事例の分析で明らかです。ポスター／プレゼンの質が向上したのだと思います。
3	企業17社だと少ない気がしたが、思いもよらない話もあった。→博士／企業参加者数はぎりぎりでした、これ以上の博士は難しいですね。
4	準備の段階からポスターを添削していただいたり、プレゼン演習の時間の時間を設定してくださり、手厚いサポートがとても良かったです。昼食の時間も有効に活用できました。
5	少し積極性に欠けてしまったが後半は遅れを取り戻そうと様々な企業の方とお話した。全体として企業の方々と情報交換できるよりよい機会となった。
6	時間スケジュールがきつくて整理する時間が欲しかった。→企業目線だとプロジェクト推進なんかはもっとハードな場合もあります。慣れです。年に数回、これくらいのテンポで仕事するのも必要です。
7	スケジュールがタイト。→企業人は忙しい中、部長級の役職者がこのために参加してくれてます、それも企業経費でです。彼らの時間をいかに密度深く貰うか、この一日にかかっているのです。それくらい他にはない機会だと思ってください。
8	企業があまり来なかったので集客の改善策を考えたい。→ぜひそうしてください。
9	有意義でした。
10	博士課程の学生にとっては企業と連絡が取れてチャンスです。今後も類似のイベントに参加したい。
11	有意義でした。
12	普段交流することができないような異分野の企業と交流できるのが楽しかったです。
13	企業の方々がどのように研究に取り組んでいるかアカデミアとの違いは何か考えることが出来ました。
14	多くの情報を知ることが出来た。
15	あんまり多くの企業さんにプレゼンできなかった。→何回か経験すると格段にうまくなります。
16	進路決定の参考になりました。今後の就職活動に役立たせていきます。
17	50人対37人ではやはり待ち時間がもったいないです。→今後の課題ですが、会自体は有意義ではなかったのでしょうか？参加できなかった8名の博士のことも考慮してください。
18	大日本住友さんとポスターで議論できなかったのが残念。
19	ポスターの時に興味のある企業の人を捕まえたいが、名札が隠れていたりして困りました。→ご指摘ごもっとも、少なくとも両面に企業名が見えるように工夫します。
20	企業の方と話合える機会は少ないとっていて、赤い系会は非常に有効だと思った。
21	前回より積極的に企業と交流出来た。
22	とても有意義な時間を過ごすことができました。今後の就職活動に活かしたいと思います。
23	自身の研究の持ち味や企業の特徴を把握することができた。
24	いつもより待ち時間が長かったように感じました。→ぎりぎりですが確かにもう少し企業人に来てほしいですね。札幌で開催する課題です。
25	会場の後方にはそもそも人の流れが少なかったなので、改善して欲しい。→企業参加者が集まるポスターは場所に依らない、あくまでポスターとマッチングというのが今まで数年の他大学も含めたイベントの解析結果から判っています。

26	連れてきてくれる企業の方が増えるとよりたくさんマッチングできると思いました。→少なくとも複数名でご参加ください、とは申し上げていますが、企業さまにも事情があり、難しいです。
27	全体的に化学が多く、自分の強みを出すのが難しかった。やはり業績不足だったかもしれない。よくも悪くも勉強になった。
28	やはり参加人数が多いとおもいます。もっと密に関係を持つためには人数を絞るべきだと思います。→そうすると参加できない博士がもっと増えることとなります。リーディングなどと違い、我々の施策は全学展開事業であり、特定の人だけに集中した施策の投入ができません。できるだけ公平に、という観点からぎりぎりに対応しています。
29	企業への理解が深まり、思わぬマッチングもあった。
30	非常に密に企業の方と関われるのは大きなメリットだと感じた。自分の専門が企業でどう活かせるのかと知る良い機会だと思う。
31	季節と開催場所について少々の不満がある。→具体的に何でしょうか？場所はこれ以上良いところだとすべて有料になります。時期も企業側が求める時期で会場が確保できることを前提としています。

(企業)

1	化学人材が多いため、関連した研究テーマを紹介するようにしたい
2	私個人としては初めての参加だったが有用に感じた。
3	非常にありがたかったです。
4	初めての機会でした。ありがとうございました。
5	活発な対話が出来非常に有意義であった。
6	とても手厚い運営。サポートに感謝です。
7	良いイベントだと感じた。
8	多くの学生さんと会う機会であり、採用にとって有効と思っています。
9	全体的に、ポスターの内容や説明レベルが上がっているように感じた。
10	多くの学生さんのパーソナリティを知れました。
11	学生のみなさんとのコミュニケーションが深くでき、よかったと思います。
12	毎年博士のレベル向上に大きく役立っていると思います。今後もよろしくお願いします。
13	充実したプログラムで大変ありがたいです。
14	情報通信系の学生が少ない。
15	コミュニケーションをとるためとは言えかなり長く感じました。
16	年々活発化していて将来が楽しみです。
17	化学・生物専攻の学生が多いのでそれ以外の専攻学生にももっと参加していただけると嬉しいです。
18	学生のガツガツ感が非常に良い。
19	電機系の学生の充実を望みます。Wifiの整備をお願いしたい。
20	当日のスケジュールが少しタイトかなと思います。事業領域でさらに2つに分けて2日間で行うのも良いかと思いました。
21	良い人材との出会いの場として有効活用させていただいています。
22	今後ともよろしくお願いします。
23	ブースの人数が最高4名のためコミュニケーションがとり易く良かったと思います。

[17] 今後、企業/研究者へ期待すること・要望など

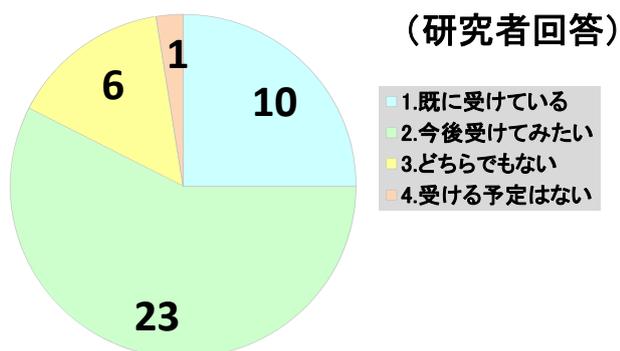
(研究者)

1	ぜひ赤い糸会に来てほしい。
2	来る方の人数を増やしてほしい。
3	選考についての情報をプレゼンに入れてほしい。→ アイデアですね。
4	2人以上で参加してもらえると嬉しいです。
5	2人組でポスターをまわらないでいただきたい。→ ほとんどいなかったと思います。ダイセルの二人以外…。
6	2人以上で参加してもらえると嬉しいです。
7	博士人材の採用を積極的にしてほしい。また、採用情報を出来るだけオープンにしてほしい。
8	連れてきてくれる企業の方が増えてくるとよりたくさんマッチングできると思いました。
9	もう少しITは多いと話しやすいかもしれません。→ 視野を広げてほしいからこのような構成にしています。ITだけならその分野の学会でマッチングイベントがあるのでは？

(企業)

1	積極性があると思う。
2	バイオインフォマックスの学生さんが増えると嬉しいです。
3	常識にとらわれない発想を持ってください。
4	どんなことでも良いので聞きたいことをぶつけてもらいたいと思いました。
5	専門性を活かしながら、柔軟に対応して頂けると嬉しいです。
6	プレゼンは自分の言いたいことを言うのではなく、相手が聞きたいことは何かを考えて構成する。
7	研究の内容以外にも自己PRを増やしてもらってもいいのでは。
8	自身のアピールを遠慮せずすること。
9	事業化をイメージした研究をしてほしいです。
10	ポスターで聞きに来てもらおうという姿勢や、研究プレゼンは良いが名刺交換頻度が低いことが気になりました。また、プレゼン内容も研究内容のみではなく、研究内容はこれです！こんな技術があるので企業でこう活躍できます！というアピールを企業は求めています。
11	研究の出口(実用性・社会実装)のイメージを強く持っていただきたいです。
12	ビジョンや目的を持って研究していること。コミュニケーション力、アピール力。
13	自分なりの価値を付加して欲しい。
15	より積極的にアプローチして欲しいです。

[18]J-Window(人材育成本部教員との面談・エントリーシートなどの添削・面接練習)
を希望しますか(研究者のみ)



[19]S-cubicへのご意見・ご要望など

(研究者)

1	ブース訪問は「20分×4+10分×4」のように長い短いを組み合わせたものがあるとよいと思いました。
2	いつもお世話になっております。今回もサポートしていただきありがとうございました。
3	いつもありがとうございます。

(企業)

1	今後もよろしくお願いします。
2	昼食のブースでの話は不要と感じました。